

給食会たより

令和5年度第1号
(公財)熊本市学校給食会
R5.6.30 文責：本郷

小松菜圃場視察

【ビニルハウスの中の小松菜】

6月21日に北区にある小松菜の圃場視察を行い、生産者の吉田さんにお話を聞かせていただきました。



- 継続的に収穫できるよう、ハウス毎1週間おきに機械を使って種をまく（播種）。
- 夏期は葉先が焼けてきた時に水やりをする（灌水）。冬期は播種した時にしか灌水をしない。水気は腐敗のリスクを高めるので、できるだけ乾燥状態にしておく。
- 梅雨が明けると50%遮光のグレイのネットを張って影を作る。夏期にはもっと光を遮断する黒色のネットに替える。
- ハウスの側面にあるビニルの部分を開閉することによって換気をし、ハウス内の温度を調節する。冬期には防寒対策としてハウスのビニルを二重にする。
- 播種してから40日くらいで40cm程に生長し、収穫となる。（冬期は50日～60日）
- 収穫は、手で一本抜いて、茎の下の部分の部分を切った後、外葉を2～3枚外す。（外葉から黄色く変色するから。）
- 施肥として夏冬期は播種前に有機肥料を施す（春秋期は施さない）。追肥はせず、農薬も特別栽培の基準内でしか散布しない。



【収穫前の小松菜】



【茎の下の部分を切る】



【吉田さん】

「小松菜を作っていて苦労することはほとんどありません。」と笑顔で話す吉田さん。葉の様子など生育状況を観て、必要と感じたら、換気をして温度を下げ、遮光ネットを張って影を作り、灌水をして水を与える。小松菜の声をいつもよく聴き、その状況に適切に対応できる吉田さんだから言える言葉だと思いました。